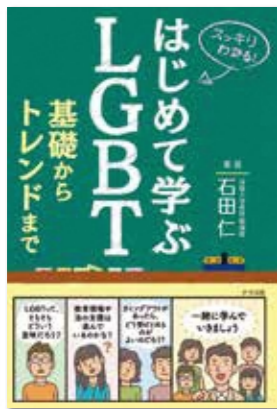


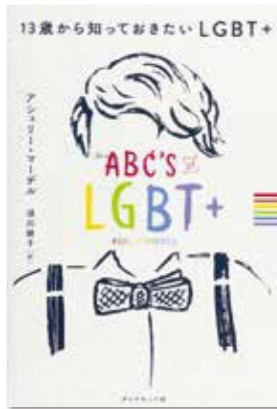
もっと知ってもらうために～本の紹介～



石田 仁「はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで」
ナツメ社 2019

LGBTに関する様々な項目が記述されています。マンガを取り入れながら解説に進んでいくため、読みやすい内容となっています。

専門書的な難しさはあまり感じませんので、入門編としておすすめの一冊です。



アシュリー・マーデル「13歳から知っておきたいLGBT+」
ダイヤモンド社 2017

LGBT当事者の体験談・インタビュー等が多数掲載されており、LGBTといっても個人差があり、一様ではないことが感じられます。また、イラストも多く、専門用語等もわかりやすく解説されています。

書名のとおり、比較的小子どもにも読みやすい内容です。

編集後記

今回、LGBTを記事にしてみようと思ったのは、推進委員の学習会において、早稲田大学のGSセンター（ジェンダーアンドセクシュアリティセンター）の渡邊歩先生からのお話をお聴きしたことがきっかけでした。からだの性とところの性が一致していない場合、性別を変更したくてもいろいろな条件があり高いハードルがあること、また治療費もほぼ自費で高額になるなど、LGBT当事者のところとからだへの負担は大きいものだという事を知りました。例えば、からだは男性、ところが女性の場合、「なよなよしている」といじめの対象となってしまうことも…

性の多様性について、自分の周りにいないから関心がないと「他人事」にならないよう、子どもたちも大人も正しい知識を学ぶ必要があると感じました。誰もが自分らしく生きていける社会に少しずつでも進んでいきますように…。

この情報紙は、南相馬市男女共同参画推進委員会広報・情報紙部会の委員が企画・編集しました。

「は～もにい」へのご意見・ご感想などをお寄せください。

また、地域で頑張っている方、男女共同参画を推進している職場の情報などをお寄せください。

発行：南相馬市教育委員会事務局生涯学習課

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目 27 番地

TEL: 0244-24-5249

FAX: 0244-23-3013

E-mail: shogaigakushu@city.minamisoma.lg.jp



南相馬市男女共同参画HP

は～もにい

Harmony

「は～もにい」には、「調和」や「和音」という意味があります。男女がお互いに尊重し、支え合い、仕事と家庭のよりよいバランスを考えていくことによって、より心地よくもっと心に響くハーモニーを奏でられたら…そんな願いをこめて本紙に名付けました。



※レインボーフラッグはLGBTの象徴です。

TOPIC

◆性の多様性について考えよう

- 「あなたの性別は？」と聞かれたら…
- 性のあり方はグラデーション
- LGBTをご存知ですか？
- 私たちにできること
- こんな風になるといいな
- もっと知ってもらうために～本の紹介～

「あなたの性別は？」と聞かれたら…

まず、ちょっと考えてみましょう。「あなたの性別は？」と聞かれたら、なんて答えますか？「男性」または「女性」と答えられた方、そう考える理由はなぜでしょう？

「性」は、「こころの性（性自認）」、「からだの性（生物学的性）」、「服装、ふるまい（性表現）」、「好きになる性（性的指向）」などの、いくつかの要素が組み合わされて構成されます。「からだの性は男性でもこころは女性」、「からだもこころも女性だけど、男性のようにふるまうのが好き」など…

要素の組み合わせはいろいろあり、からだの性だけで「男性」「女性」の2つに分けられるものではないのです。



性のあり方はグラデーション



「グラデーション」という言葉があります。段階的に色が変わっていく様子を表すときに使います。

世の中は、男性、女性、LGBTというように分類されると思っている方もいますが、そうではありません。身長、体重、性格、声の高さ、肌の色が違うように、一人として全く同じ人はいません。また、それぞれが好きなタイプ、好みの服装など、「好きなもの」についても、好みがわかるように、性も多種・多様です。

性は「グラデーション」と言われていますが、それぐらい、一人ひとりが違います。大切なのは、一人ひとりが違うことを理解することだと思います。

LGBTをご存知ですか？

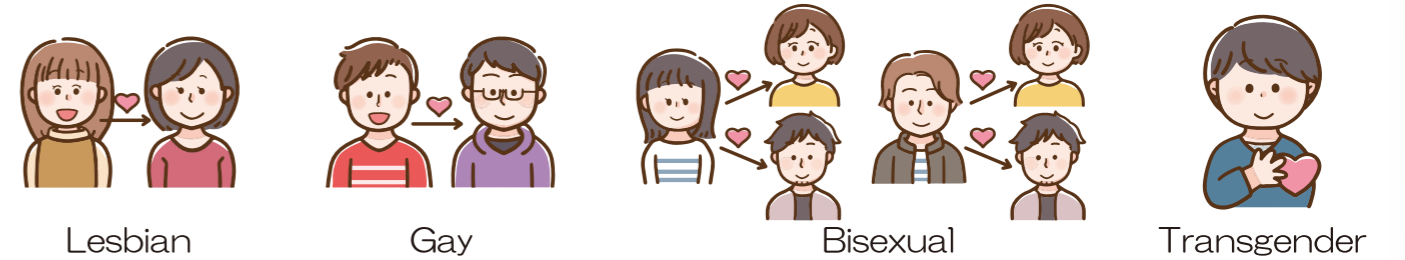
LGBTという言葉については、もうご存知の方も多いたと思いますが、Lesbian（レズビアン：女性同性愛者）、Gay（ゲイ：男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル：両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー：自身の生まれ持った体や割り当てられた性別に対し違和感があり、それとは違う性自認、性表現と共に生きている人）の頭文字をとった単語で、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）を表す総称の一つです。性的マイノリティには、LGBT以外にも多様な性があり、更なる理解を深めていく必要があります。



では、日本でのLGBT当事者の割合はどれくらいでしょうか。性的マイノリティというくらいだから、少ないのでは？と思った方…電通ダイバーシティ・ラボが2020年に実施した調査によると、LGBT当事者の割合は8.9%、これは、約11人に1人、左利きの方と同じくらいの割合になります。

もっと身近な例だと、南相馬市での0歳～14歳の人口は9%、小さなお子さんを見かけたり、買い物等ですれ違ったりしていると思います。

LGBT当事者は見ただけではわからないため、特別な存在だと思ってしまっている方も多いと思いますが、わたしたちのごく身近にいる存在であることに気づいていただけたらと思います。



わたしたちができること



LGBT当事者は、差別的な発言をされたりからかいの対象となるなど、いじめ被害に遭うことも少なくありません。誰もが自分らしく生きることのできる社会をつくるために、わたしたちができること、何があるか考えてみませんか？

- 🏳️ 本や映画などを見ること、講演会を聴いてみるなど、多様な性を知ることから始める。
- 🏳️ 「いろんな性のあり方の人がいる」という前提で、考え、行動をする。
- 🏳️ 周囲の人に自分で感じたこと、学んだことをシェアして、理解者を増やす。

こんな風になるといいな

- 🏳️ 性別にとらわれず、ひとりの人として接することができる社会へ
- 🏳️ 制服を選ぶ時は、「男の子はズボン、女の子はスカート」と決めずに、自分が着たい制服を選べる社会へ
- 🏳️ LGBT当事者でも、安心してトイレを利用できる社会へ
- 🏳️ 一人ひとりの違いを認め合い、尊重される社会へ

